

1. ワークショップの概要

1.1 第4回ワークショップ

第4回ワークショップの概要は表1に示すとおりであり、主な議事を表2に示した。

第4回ワークショップでの議題は調査手法や地点の確認であり、主な指摘事項は以下のとおりであった。

- ・整備前と同様の調査方法で調査を実施する。
- ・調査回数が限られているため適期の調査を優先して行う。
- ・重要種及び外来種は、最新の基準で選定する。
- ・整備前及び整備後の調査結果を比較してとりまとめる。

表1 第4回常磐公園自然環境調査ワークショップの概要

日時:平成29年5月2日(火) 13:30~15:00

場所:旭川市第3庁舎土木部第4会議室

出席者:

◆有識者

塩田 惇(あさひかわ自然共生ネットワーク)、出羽 寛(あさひかわ自然共生ネットワーク)、
寺島 一男(あさひかわ自然共生ネットワーク)、南 尚貴(旭川市科学館)

◆業務受託者

前田 敬(管理技術者)、舟口 義臣(担当者)

◆事務局

斉藤 郁生(土木部公園みどり課)、水野 雅博(土木部公園みどり課)
山崎 正太(土木部公園みどり課)、大窪 俊英(土木部公園みどり課)

資料:

- ・常磐公園自然環境調査 第4回ワークショップ資料(自然環境調査方法について)(A3 8頁)

表 2(1) 第 4 回常磐公園自然環境調査ワークショップにおける主な議事

懇談会の概要
<p>●常磐公園自然環境調査の業務計画説明</p> <p>受託者の株式会社建設技術研究所より本年度の自然環境調査について説明を行い、有識者及び事務局と意見交換を行った。議事概要は以下に示すとおりであり、調査項目別に示した。</p> <p>(1)植物調査</p> <p>1)調査時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備前調査と同じ時期なので問題ない(有識者)。 <p>2)調査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～の 1 種」となる同定が難しいものは、写真か標本をとっておくこと(有識者)。 ・外来種のイワミツバがプール傍の法面に、かなりの面積で生育している。そのような特殊な環境は、特記としてデータを残しておくこと。 →イワミツバは、北海道の条例でも指定されている種なので、特徴的な環境があればトピック事項として記録する(受注者)。 <p>(2)鳥類調査</p> <p>1)調査時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月だと夏鳥はそろわない(有識者)。 ・調査回数が 1 回なら、6 月の方が良い(有識者)。 →繁殖利用を整備前調査で行っているため、繁殖利用がわかりやすい 6 月に調査を行い、データの比較をする(受注者)。 <p>2)調査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法について了承した(有識者)。 <p>(3)両生類・爬虫類・哺乳類調査</p> <p>1)コウモリの調査時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐公園で確認されるコウモリはヤマコウモリと考えられる。5 月から現れるため、6 月に調査したほうが確実に確認できる(有識者)。 →6 月に調査を行うこととする(受注者)。 <p>2)両生類・爬虫類・哺乳類の調査時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 回の調査なら、7 月が良い。両生類は 5 月に幼生を確認しやすいが、7 月でも成体の確認が可能である(有識者)。 →7 月に調査を行うこととする(受注者)。 <p>3)調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法について了承した(有識者)。 <p>4)コウモリの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋にチチブコウモリが旭川近郊で確認されている(有識者)。 <p>5)両生類・爬虫類の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐公園内に入ってきている情報はないが、外来種のツチガエルに留意すること(有識者)。 <p>(4)魚類調査</p> <ul style="list-style-type: none"> →影響が軽微と考え調査を行わない(受注者)。 ・調査を行わないことを了承した(有識者)。 <p>(5)昆虫類調査</p> <p>1)調査時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備前調査が 6 月と 8 月に行われているのでどちらの調査時期にあわせるか。整備前は、どちらの月に確認種数が多かったのか(有識者)。 →整備前調査では、8 月の方が確認種数が多かった(受注者)。 ・8 月の方に確認種数が多かったのであれば、8 月に調査を行う方が良い。 →確認種が多い 8 月に調査を行う(受注者)。 <p>2)調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法について了承した(有識者)。 <p>(6)土壌調査</p> <ul style="list-style-type: none"> →影響が軽微と考え調査を行わない(受注者)。 了承した(有識者)。

表 2(2) 第 4 回常磐公園自然環境調査ワークショップにおける主な議事

懇談会の概要
<p>(7) 微気象調査</p> <p>1) 調査時期について ・整備前調査と同じ時期なので問題ない(有識者)。</p> <p>2) 調査方法 ・調査方法について了承した(有識者)。</p> <p>(8) とりまとめに関する考え方</p> <p>→昨年度結果を含めて調査結果を比較し、環境生物相の変化の確認を行いとりまとめる(受注者)。 ・他の公園等と比較し、常磐公園はきちんと生物相を把握していると思う。調査の目的である、「常磐公園内及びその周辺の生物相の現状の把握」、「生物多様性と生態系の特性の把握」、「常磐公園の自然改善の検討」、「市民の利用と常磐公園の自然の関係把握と改善の検討」を、反映できるようとりまとめが望ましい(有識者)。 →了解した。調査結果をもとにとりまとめ方法についても検討する(受注者)。</p> <p>(9) その他</p> <p>・業務実施方針の「緑のネットワークの常磐公園の生物系の位置づけ」の「生物系」を「生態系」にした方がよい(有識者)。 →了解した。(受注者)。</p>